f2 J A 

会計 聚雄

神管察

ペーヤ板原処材 吉川商品 1二九一三街

松甲板 依り之等難穀類の需要性が工事関係者の奥地 頃迄相場は

でも豫期してゐなかつた事でなかなか大變の樣です黑でなかなか大變の樣です黑 といふのが貴族院始め一般 局現内閣は難々の事情で辭 に比較するに大豆一石六圓三 〇銭で二〇銭、豆粕一圓二十 六銭で四銭、高梁一石五圓二 五十銭で一圓五十銭、小姿一 石入圓五一銭で五〇銭、白米 一石十七圓の五〇銭と何れも

戦し興味を吹る配事である。 戦し興味を吹る配事である。 戦し興味を吹る配事である。 廣田外相と問答

一十三月五年九和昭

作を爲しつつあり從來新觀省 一度 得一にありとして其

注目の的となつてゐるが兩國 注目の的となつてゐるが兩國 とも自國勢力の擴張の莊礎は

一強化―哈響―編州―西安間 ・ の航空路開設を計畫して居り ・ 住復もあるが未だ一般の利用 ・ は限定せられて

交通路の獲得に専念の態

來連

高橋是賢子

市内滅人失業者救済のため之

相の長男貴族院議員高檔是賢 中の大連十九日入港の「うすりいれ」で來述したが、船中 にて語る

天津の商舗の支店を設けるも 搬人せられる譯で(野化城哈 搬人せられる譯で(野化城哈 で、「大津の商舗の支店を設ける。」

天津方面より輸送される商品言ふべきものは駱駝であるが

一現在 | では交通の開致 では短波無線電信局も設 に質軟するとこ では短波無線電信局も設 では近波無線電信局も設

り 等失業者を會員の工場に教容 対応を爲すべき職業紹介所設 を言動會席上各會員に話りたる 会總會席上各會員に話りたる ところ満場異議なく紹介所設 本来他役員を選任し事務所を 地 事其他役員を選任し事務所を 地 事工會内に置くこと」なつた

横洲化學工業の總會が六月 一日開かれるので私は監査 役をしてゐる關係ト出席の 経承ました、新京、ハルビ ンを親祭後朝鮮經由闘威の

設し更に本線より五支線を敷 前トルタシブ鐵道をソ國が架 のも相當多敷に上つたが敷年

【東京國通】東株の今期配當 は主務省から認可あつたが配 は卅一日後場より右配當金を 落し立會ふ筈である

七分六厘据置

特産物對策に就て

關係者が全満視察

の親祭は相當重視されてゐる界の現状に鑑み在連特産菜者 京岡線全通により集散情况に 

早河共働を

るだって、煩さ

というので

總局
こ
改
め
て
協議する

出人高を前年屋期に比較する倫本年一月より三月までの協能出入高

日

對西 二千一百五十八萬留 である、ソ関は既に塔城、伊であるが之に對抗して英國も亦 發謝(喀什陽爾)に領事館を 設置してゐる、尙英ソ兩國と も新盟省の交通路については も新盟省の交通路については もの主意を拂つてゐるが省

職業紹介所設立

金融合作

奉天總工會

智易額を示せば 智易額を示せば 関易額を示せば

大阪取引所の

九日重役會議で今期配當八朱

奉天回教

土地移轉完了

Mで、前年に比し二千九百ा 特、織詰、染料、揮穀油十五品 特に於て六十入萬一千二百 十二百十二百十二十五品

國幣流通の狀况

躍進を辿る

局子街の經濟狀况

国幣の流通は漸次堅實味を加 した 上記 は 個に 国 の が いまるで、 まるで、 まるで、 まるで、 まるで、 とのやらにして 時代

を出しつ」よある現状であって今後は農作物の種類の制限調 電等に関し政府常局に於で嚴 策を構ぜざる限り数年を出で ずして惨憺たる結果を見るに 至りはしないかと憂慮されて ある、因みに附近各縣農作物 中虚量並に出廻り数量は中銀 調査によると左の は経々その数を増しつ」ある 個し雪地方一般の商取別は依然出資を担て行はれて居る、 高地方在住の欧米人は本年三 月に於て三十人で、雑貨商伙 倉店を營んで居る、白来雲人 十六人、天主教神父たる獨人 十四人で、内白来雲人は百貨 検続却した額は五萬餘**間に達** 機能却した額は五萬餘**間に達** たにやかやに、雅んだ、とれだ

の様子を見觸して、 「しかし、 そんなことを思 に、これだけの さらに、 あたり

九九九五五六〇

(-)

近京間、拉賓南線の全通によ 至り、目然吉林の繁榮にも形 変を及ぼしたのみならず、最

+

吉林附近農民

0

市林省に於る旣耕地は四百八十七萬町歩と稱せられるがこれ等旣耕地及ひ射來の可耕地は主として、北部松花江本流地方であつて吉林省城附近に地方であつて吉林省城附近に地方と同様從末殆んど大豆のみを目標として生産し來つたが昨年来観點歸係其他により、一昨年の備出激減し、一昨年の有相に比し約三分、一に暴落

小大生で林

干

A.

四

余り多くを望めぬ

吉林の将來

經濟的に見た全貌

の購買力が如何に貧弱なるかで、之に木材の輸出約二百萬元、元を加へると三千七百萬元、元を加へると三千七百萬元、元を加へると三千七百萬元、元を加へると三千七百萬元、

過地たるに止り、之がため物の輸送に関しては単に一

日)

ツ國は又「セミパラチンスタ」 があるが英國は日下これを自 があるが英國は日下これを自 があるが英國は日下これを自 があるが英國は日下これを自 があるが英國は日下これを自 があるが英國は日下これを自 があるが英國は日下これを自 があるが英國は日下これを自

『奉天國通』 森州國農村唯一 合作社は現在奉天省に十ヶ所 古林省に二ヶ所、黒龍江省に 一ヶ所、計十三ヶ所に過ぎざ るため新年度に於ても六十ヶ るため新年度に於ても六十ヶ るため新年度に於ても六十ヶ所

作社々長理事會議を開催する事となったが當日の協議事項は左の如し一、長村金融に数する意見抱負 一二、金融合作社經營上の施設改善に関する事項

般市况

庫車―阿古蘇―

迪化一伊

社長理事会

來月上

もっていたなん

女中が、対から除って来た。 いっれたしても時代は

用庭家御液虫殺力強

精洲代理店 (G木棚)

田

動もないし経 他一は、歌歌ふやうに歌笑んだ。 際代の験が、またぼうつと、歌

わ、領其を買いいろ ど目の贈る代は で考へると、心臓しなつてー 「つまり、難し深よ。だけども、人 のだらうかと、そんな状のことま 打しなんで来た。 東四條通電話三七三三番

在の程には、着へる必要の無いこ 何事も関の気だ、関の気に続いて それで宜いだやないか。實際また 師も云へなくなつ 所紛争假

七二八三町笠三

型錄進呈

素質リグナ ライル

炎 油 酒 米 今一 田 商店

女中數名入用

で少く早いけれど 他一は、緩慢を は人名目をから で少く早いけれど で少く早いけれど 百八十四) い。けれど、観情 ら除って来た。 (は) (荒川 芳三郎 の対象の、 を行 友 女師も女師だけれど、 雄 3 吉 料戦揚 ◆◆◆◆◆ 十掲十五陂三 銭融行 履 増日一行度行 指回一一一 櫛通中家内 んま 男女員多数

無理にやめて まると、自然、気分まで、すつり落ついて來るから不思議だよ 「あたし、今日までは、ほんとう も盆も、湯流しも 特新しい物はひ やつばり情あなたのお話です 分の家といふものが、 「便が出るから、お覧々々つ 妙なものだ、断う 店舗 運 イン、 家質格安條件有利 性名在社

達

.

悲

痛

.

殺

陣

笑

全主 あり△△△△

六月一日より

五日間限り

於

長

春

「安心して、源がとばれるといいけんの彼女は、動も服装も、す たやうな劇材になって、鉄査の前 らなかつたの。さつき、お湯から れて歌たわり 初めてホッと安心し 版館内二一院 の記者は東二條通五八肥長屋 が記者は東二條通五八肥長屋 が記者は東二條通五八肥長屋 求下后 明洋行了嗣田本橋通科

「リグノイド」

ノ缺點ラ補フ

舖裝材料

特專

許賣

ガ

心を動かし、繋

なって来て、

女中 八月 十四五歳二 下宿鄉 题 (東京)順天堂出張所へ

特

長

外觀優美、色彩自由、耐火、耐震、耐水、保溫、音響防止、步足輕快

强靱、

彈力性豐富、

伸縮、龜裂、

剝離絕無、施工迅速、價格低廉

行鳥町二ノー商業學校前 行鳥町二ノー商業學校前 イ島町二ノー商業學校前 イ島町二ノー商業學校前 イ島町二ノー商業學校前

金 

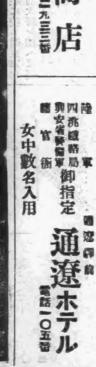
金 洋和昭

工 •

平壤 鐵道病 院馬山海軍購買所平壤 府廳馬山者級小學技能浪津下地道金泉 彈地下道釜山 女學 按釜山西部無盡賣社 釜山 女學 按釜山西部無盡賣社 釜山 女學 按 

東京極東化學工業所新京城內西五馬路十一號地 リグナ商會新京支店

工場 電話三八七四番



夏の御家庭に……



三八五二書

日京新 二話電

(=)

眠るが

如き大往

の新

h

も空しく

め 政は延期されることにかる ・御来京の御豫定であり、御 ・御来京の御豫定であり、御

奉公の誠を盡

訓を体し

最近更に氣管支炎をも併發

**今朝六時三十五分** 

高 本 の報に深く御軫念、昨二十九 日午後一時工際侍衛官長を駐 で が 高 で の報に深く御軫念、昨二十九 日 の報に深く御軫念、昨二十九 日 の報に深く御軫念、昨二十九 日 の報に深く御軫念、昨二十九

説宴に移らうと 説宴に移らうと 説して現役、在練 だして現役、在練 十分に亘り御快歩

電を酸せられ

げ爾來神佛かけ

膀胱結石と坐骨神經痛が元



日一十三月五年九和昭

「東京國通至急報」國をあげてその回復を祈りつる手當の甲斐なく午前六時全くの甲斐なく午前六時全くの甲斐なく午前六時全くの甲斐なく午前六時全くの甲斐なく年前六時全くの甲斐なく年前六時全くの甲斐なく年前六時 特電戲問件新健康

逸早く本社號

憂愁漂

八田副總裁

ら續々弔問に

# 二十七日第二十九回海軍記念日の當日重態に陷り爾來加藤主治醫はじめ稻田、増田兩闷士、福井、あつたが宿痾の膀胱結石及び坐骨神經痛の他に最近は氣管支炎を併發し衰弱加 はり 奇しくも五月の間に眠るが如く眼を閉じたのであつた、昨夏來喉頭癌を病み、麴町區三番町の自邸 で靜 養中で東京國通)遂に薨去した老元帥は八十八歳、麴町三番町の質素な屋敷の中庭 に面し た階下八疊 横倉兩軍醫等全力を盡しての治療も遂に甲斐なくなったのであ

# 去前後 情景

日

日

京

臨終の病床には令息嗣子彪氏 親者園田男夫妻、海江田子爵 如く息絶へ、農去したのであ 及ひ 夫人 百合 子さん、次男

明末の 御沙汰 「東京関通」 天墓陸下には 故調定官、元帥、海 軍大將、東郷侯が日 露役に聯合般駿司令長官として 全国の興殿を日本海の一般に決し多年帝國 海軍 の光實に力を致し、また東宮御學問所 總裁として 至職奉公その功績顯著なるものあるに對し 畏くも 関の御沙汰あらせられ勅使を御 差遣、故元帥の 質前に傳宣せしめらるゝ趣きと洩れ承る

勘章、元帥刀を飾り、直ちに金鵄勳章以下数々の内外國大 侯爵 || 位首飾、功一級

故東鄉元帥葬儀

を見送つた、尚鵬去された元 を開かに去りゆく偉人の霊に 最期の告別を告け涙の裡に之 を見ざった、 の子さん、 忠二さん れ枕頭には 長き過りより腸の遺骸は直ちに北枕に直さ

東京國通)東郷元帥は自邸 「東京國通」東郷元帥は自邸 「東京國通」東郷元帥は自邸 「東京國通」東郷元帥は自邸 「大会と、「大会」にありてるたが をく經認狀態となり、意識不 をく經認狀態となり、意識不 をが咽喉にか あった、よって酸素吸入を行 ひこれを緩和してるたが遠に 中前六時卅五分世界の偉人我

により関帯を賜る旨の御内意 があつたが更に麂去の旨天聴 に建し國郡令の定むるところ に建し國郡令の定むるところ

後つて政府は直ちに國郡に要 | 誤離を賜る旨の勅書を賜つた

出の件を決定した 出の件を決定した 協田外相を訪問、哀痛の意を 後の人で、取取へず謝外交部大臣の

國葬の

勅書を

(東京國通) 畏き繰りでは東郷侯が多年帝國海軍其他國家に貢獻せる顯著を成一位(特旨を以て位一級進めらる)

1

陞叙

非常時を前に痛惜

れたので、政府は州

【東京國通】故東郷元帥の郡

方正義 (大正十三年)

鄭總理から

東郷元帥の

を切つた、明治 を切つた、明治

で元帥府に列せられた、其後の一列せられ一躍伯爵を賜ひ、文

あられた東郷元帥閣下郷去せ られ島國のため誠に痛情に堪 へぬ、今や非常時を前にして 此の典型的武人を失ひ、また 財在の思想に於て此の大聖者

江田信義長女\* 工田信義長女\*

小林司令官 より弔電

臣下では

御懇應なる弔電を設せら 招され元帥の遺族に宛て 日され元帥の遺族に宛て

り配費を以て行ふ葬儀の意味 で今日まで皇族、王族を除さ 臣下で國葬にあづかつた、功 臣は左の如く、東郷元帥は十

名で東郷元帥宛今朝左の如き駐鞴海軍部では小林司令官の

第100 高なる 平電を登した 信張軍 「元帥の薨去を悼む」旨の慰 「元帥の薨去を悼む」旨の慰

役中海軍少將

経験 歴任し、又東宮御學問所總裁 歴任し、又東宮御學問所總裁 歴任し、又東宮御學問所總裁 で 官の顯養に在り、大正十五年で 官の顯養に在り、大正十五年で 官乗主機官歴氏及ひ大男正六た 官乗主機官歴氏及ひ大男正六た 官乗主機官歴氏及ひ大男正六た 官乗主機官歴氏及ひ大男正六た 官乗主機官歴氏及ひ大男正六た 官乗主機官歴氏及ひ大男正六た 官乗主機官歴氏及び大男正六た 官乗主機官歴氏及び大男正六た 官乗主機官歴氏及び大男正六た 官乗主機官を動可の肩郎に閉居、自 を後を動可の肩郎に閉居、自 を後を動可の肩郎に閉居、自 が海軍史とのものであつた、

八田副總裁

大和ホテルで開催される福州大和ホテルで開催される福州

麾下一同を代表して踵んで接し痛惜に堪へず 車郷元帥閣下御郷去の報に

路大官の用電が鍍々設せられ 路大官の用電が鍍々設せられ

東郷元帥の計報に就き満州國

(東京園通) 文部省品

内紛の餘震

遺族へ弔電 徳皇帝から

た人の薨去した場合特旨に依 とは國家に偉大なる功勢あつ機は國難と决定したが、國都

代つて直ちに元帥邸に用電を 東郷元帥薨去の報に接した新 東郷元帥薨去の報に接した新 大事務所では新京時局後 大事務所では新京時局後 市民に代 時局後援會 2

を | 七時着列車で來京したばかり | おしく参拝した、やがて午前 | おしく参拝した、やがて午前 | 七時着列車で來京したばかり | 七時着列車で來京したばかり | 1

本社の競外によつて幾早き本社の競外によつて報ぎられたが、さすがに全國民が崇敬をたが、さすがに全國民が崇敬をつれて今更の如く故元帥の偉助をたいへ、またその農去を悼むのであつた、午前七時農市では、日頃快活なる小林司令では、日頃快活なる小林司令

な空模様である、元帥薨去

元帥は人も知る

世界海殿史上、輝く武鵬を立 て、その名を永遠に残した東 郷元帥も関民の切なる平総新 原も甲斐なく迷に選去した、 この日わが新京では朝來らす

父を失ふ ル帥の薨去を悼む人

『記念碑前に

郷元帥跪去さる」の連報は卅 を悲しみのヴエールに包んだ市内要所々々に貼られた「東 日の陰の夢を破つて薪京全市

額づく婦人會員の悲しみ

を執行することになる模様での中を入れ代りを執行することになる模様であり、田代憲兵司 令部ではいづれ國郡當日新京

立ち代り用間したが細雨降り顔る中が細雨降り顔る中

職くば日本、否東亚の守護神 をなりて震験を垂れ給へ、合

に刻まれた故元帥の筆になる即る薦々として西公園海軍き雨も薦々として西公園海軍 遠機深く

て悲しみを増す、膝の汚れるた縁の中にくつきりと浮き出た。 八世八十八と云ふと普通の人

今更に元帥の死を悼まざるを 五、六年の危機を想ふの時、 三十

今更に元帥の死を悼まざ

福間に取つては長命の方だが東神 有者だつた、此の顕家多離の 非常時日本にとつて発に一九 三五、六年の危機を間近に控えて元帥を失つたことは憎め えて元帥を失つたことは憎め えて元帥を失つたことは憎め えて元帥を失つたことは憎め えて元帥を失つたことは憎め たき天命で致し方がない我々は元帥の高潔な人格を我々の中に生かして進んで行かねば ならない、異國の地から衷心 哀悼の意を表す大第である 元帥農会の報に接し関東軍司 帝官舎に変対大将を訪へば憂 然の声持ちで次の如く語つた 元帥の護去は國家の損失で 関民擧つて惜むべき事だ、 関民擧つて惜むべき事だ、 同たがそ時は非常に肚健で あつたが日露の大海職の記 は實に沈唐果斷の方で何事 は實に沈唐果斷の方で何事 何かの因縁であろう、元帥は質に沈着果断の方で何事につけても實に厳格になされる、ある時元帥級の方で何事につけても實に厳格になさられ大に廻したが、元帥は手に取るや他の方は簡単に見られたことがあつた、又一つのことを決めるにしても軽々な態度をとらず落ついて決めるが一貫決められたことがあった。又一つのことを決めるにしても軽々な態度をとらず落ついて決めるが一貫決められたこと

互星遠におちて

感し、春雨また泣くが

東亞の一大損失だ

東郷元帥薨去の悲報に鄭總理大臣沈痛の面もちで語る日本海々職に於て東郷元帥の率めた日本海軍がバルチック艦殿を撃破したのは管に日本帝國の安全を確保したのみならず之に依つて東亜の平和、と康寧を萬代の安きに置いたもので、その場別は實に比類無きものと はなられ、然し元帥は齢既 はなられ、然し元帥は齢既 はなられ、然し元帥は齢既 に入十八の老齢に達してを られたことでもあり、已む を得ねことと考へられる。 者くば第二、第三の東郷出 で日本帝國のみならず東亜 で日本帝國のみならず東重 で日本帝國のみならず東重 同日午後四時三十分發南右一日午後三時二十分發哈市へ六月前八時三十分發哈市へ六月

行京月午

大角海相語る

軍政部大臣張景惠

東郷元帥選去の報に接し驚愕をくところを知らない、只憲かに日本皇室並國民に對し深である。日本海々最と云へば日本人のみならず恐らく世界の人々は東郷元帥の名を慰ひ起すであらう、あの献々たるある元帥にしてはじめて得られたるものであつて日本海軍の今日あるは、その功の一半は元帥に勝すべきものであらくせいの今日あるは、その功の一半は元帥に勝すべきものであら

伊本安高昨 ペオブ▲ 値告値値止▲ンしロ▲ ・上ゴム1印

全の御奉公を致さればならな 全の御奉公を致さればならな

1400 1400 1400 1400 1400 1400 1400 

を御手に一艘五名より成る選手圏を迎へ全艦線の士氣を装 舞された當時の御姿も忘れ得

た當 りませんが、西公園の忠勇義 取られ、私共の「初瀬」は途の時段 ながらそれでも二漕でした。 知動の 中で倒れた一人をかつぎ上げ すがらそれでも二漕でした。 知道 かんしゅう かんかん かんしゅう かんしゅん しんしゅん かんしゅん しんしゅん しんしゅん しんしゅん しんしゅん しんしゅん しんしゅん しんしゅん しんしゅん しんしゅん しんしゅんしん しんしん しんしん

岩坂新京海友會長談

念日の夕刻 に投し宴を に投し宴を に対前り申上 に到頭いけ

康德皇帝

御見舞電御發出

に、花と散り行く紙片を見ながら、私共は永久に御教訓をだれまじく心に誓つたものであれまじく心に誓つたものでは、海も超越した日本、否、東洋不被の纏り神であられると確く信ずるものであり、現在鴻洲の鍵り神であられると確くはでありでありますが、御遺訓を体して怠々は不らりますが、御遺訓を体して怠々にと言いて居ります。

本の尖端にこめで打込んであ 大臣常時東京まで出かけて軟 な力襲い題学はそのまゝタガ な力襲い題学はそのまゝタガ

東郷元帥鷹去の報に接す、痛 酸の人である、元帥は正に酸 東郷元帥鷹去の報に接す、痛 酸の人である、元帥は申す迄もなく、出 (中大なる存在は、國民贈仰の ででは、外に重任を添うして 的であッた、當今內外の世局で、思ふに現時智の人はあり 永く同胞の心に宿るであらう 「そ、思ふに現時智の人はあり 永く同胞の心に宿るであらう 「た、思ふに現時智の人はあり 永く同胞の心に宿るであらう」 「大なる存在は、國民贈仰の 大、関の人、関の人として、其嚴離 し思へば其偉大なる御人格は 下た、思ふに現時智の人はあり 永く同胞の心に宿るであらう 東郷元帥薦去の報に接す、補一東郷元帥薦去の報に接す、補一

▲大連上海向

▲大連煙台向

問費東郷元帥送にかへらず 國を擧げての平極祈願も空し

どても御元氣

思出を語る菱刈將

Ď

### 御日程次の御殺定にあらせられること」なつてあるが大されること」なつてゐるが大されること」なつてゐるが大きが以外的時間,如果然是 行列(日本人)御覽 一行列(日本人)御覽 一行列(日本人)御覽 一行列(日本人)御覽 六日午後新京御着十三日御離京 六月八日 午前滿洲國伽觀兵式御成、賜謁及一般率拜、 特命全權大使主催午餐御成 滿洲國皇帝親陰、午後御戀 勝、新京衛戌病院御成、閩 藤軍司令官時命全權大使主 動會御成 御 日程决る 宮殿 と思はれる點は無かつたらり に上る電報、その類信紙に不 便な點、又は取扱上不能率だ 一、宛名 大油 一名 金一○○ 一名 金五○□ 一名 金二○□ 四(四〇〇圓) 数材並其他補助費六〇〇

庭球東京俱樂部近く來京

リ、横一四八ミ

幼稚園補助費一〇〇四へ

映畫補助費二〇〇圓(何

軽されたが長岡検事は左の如 時半より東京地方裁判所で開 時半より東京地方裁判所で開 それは本寸法以外と 一、競場 八月十五日 一、競場 八月十五日 はやがて公賣支郷になるはず百六十圓も計上されたがこれに中がて公賣を計上されたがこれ

新京軍ご試合

な不便、不能率な監の指摘の も不便、不能率な監の指摘の も不便、不能率な監の指摘の

その選定を正副の

人を歓迎して

條約と安全保障に養成し加 場せる歐洲諸國の相互援助 場でる歐洲諸國の相互援助

廿八年振りに歸る

敷奇を極めたその半生!

運賃割引 来月二十三、四日兩日率天で開催される第一回鮮満聯合醫 場會出席者には滿綴では旅客 場合出席者には滿綴では旅客 會出席者に の醫學 宣傳に大童 歌詞を作

想役十年

大澤武三郎 巻雄

をもつて實施され人しく欠員 となつてゐた權度局長にもこ の程趙農氏の就任をみたので 局員一同大いに緊張してこれ か實施の宣傳にあたつてゐる ス派を警戒して居り兩國母がルチック沿岸諸國のナホて居り、ソヴイエートでけ

れ積極的に

激化されるもの

イテテハル 日本を離れて を現て浮草の を現て浮草の

ル関通)懐しい故國 満洲関領事館の旅祭を所持しれて廿八年女性の身 て居るのに不審を懷き取調べれて廿八年女性の身 で居るのに不審を懷き取調べた女 いある 日本女性 は廿八年前單身ウラジボに渡 は十八年前曜身ウラジボに渡 かいある り 異國の男を相手に酌域深楽 は かいある

際の

日

會談が始まるか

一婦國

齋藤大使、

ハル長官と會見

虚心坦懐に軍縮意見交換

撫子が満人養東三の姪と稱し 動であつたが十一日突然大和 動であつたが十一日突然大和

を爲しつゝ洗浪の旅を續け處本を轉々と彷徨、今から十五年前滿人某と同棲、ブラゴエに來り難貨商を經營して居た

回答を發した次第である、

昆を同じらすることは欣快この點につき日本政府と所

滿鐵運動會近づき

(制用) (制用)

栗原氏會長に

小澤氏は副會長に

室町校父兄會役員改選

社務能率化を目的として、電子の関係ではサービス改善、

新樣式懸賞募集

早く馴れませう新制度量衡 三つの単位は聯絡ありて長さ 

術的質質的話し合ひも行び強備會商に於ては進んで技職に養成するものであるが

意見を交換の上相互の諒解 た技術其他の諸問題につき も技術其他の諸問題につき も技術其他の諸問題につき

選手意氣揚

3

損害八十圓

落札工事

极

木松

叉

暗夜に乘じ ハンド 2 1

(括孤 市内郷町二丁目七番地早川武市内郷町二丁目七番地早川武大氏夫人が二十九日午後十時五十分ごろ吉野町から馬車で西半賃銀を支擔はんとしてるる時突然白の作業服を着した内地人馬の二十八歳前後の男が現はれ現金九圓在中のハンドバッタをかつぼらい暗に乗じて逃走した、届出に接し新 音器配給は

表

正著音機及ひレコード配給に 所が本社に申請した、新京牌

(書補助費二〇〇圓(三

十進法の位取りむづかしいやうでも馴れ易い きまつた新制度いろいろあつた度量衡極めて テモ又至極便利な新制度量 テモ又至極便利な新制度量でましょ誉造庫平 テモ又至極便利な新制度量

制度制度

モ又至極便利な新制度量

西鄉從德侯 あす講演會

許可されなかつた関する件は時期尚早の理由で

靜雄氏は二十八日午後二時

ある

分ごろ自宅で裏口一個

記

地位と題し約一時間半に亘つ地位と題し約一時間半に亘つが西郷侯は三十一日午後二時から室町は三十一日午後二時から室町地位と題し約一時間半に亘つ れたので記意を表するため二れたので記意を表するため二 宴を催しー号敷をつくして同の馴係者二十余名を招いて祝れに在京各新聞社並に通信社 十九日午後六時半から科亭開 權度局の祝宴

"

▲露月町七十七番地湾藤光治 氏は二十八日午前十一時十 五分ごろ新京郵便局爲替窓 口で黒東製財布一個在中三 三圓を窃取されだ

オジ

車一條通十

自轉車一合を西公園内出張

前で自轉車一合を窃取され十九日午前七時ごろ郵便局

飛ばされ 馬二頭は頭部額面に つてくる途中經油動車にはわ ってくる途中經油動車にはわ

二十九日午後九時五十分頃寬 城子鐵道路切で城内東四道街

された

年限を終つて韓國したもので
新さなかつたが今回漸く義務
許さなかつたが今回漸く義務 

一合を二十八日午後二時ご 住井島カネさん所有自轉車 住井島カネさん所有自轉車 ろ西廣場小學校表玄関で物 本領にも出入して居たが最近 に至つてソ勝官艦の監視戯し 大が、ソ聯営機の許可を待つて居 たが、ソ聯営機の許可を待つて居

# 競馬また延期

■れば脳環が迫る テモ又文化進步の新制度量 三日と學行することゝなつた以後も變更引續さ一日、二日以後も變更引續さ一日、二日以後も變更引續さ一日、二日 第二次競馬 あすから續けて四日間擧行

・ 清州の町に種おろすな都市……

お奬め

登鉴になつて御婦人にも御相手出來る合辨酒!! 寮を朗にするは酒!! 寮ました 東ました

芝生の心地よさ闘春の味を補爽し家庭に野外に朗かな春が蔵より関かれた春

名前買つて合辨酒……清く純な粹な酒 御試飲下さい栗王を……協和は物の始めなり……香薷溯味日本

一日目成績

指金県 一等九六圓六〇銭 第六蔵馬(五頭)一、八〇〇米 (一)金鵜(騎手原田)二分三五 砂五ノ分一(二)大勇 配當(復)

店理代

和

電話三四六六番 新京祝町二ノ四 陸海軍鐵道省指定工場

丸善礦油會社

軍縮一般委員會は頗る混沌

問題を繞り

九つ十をの子供でもすぐに見

合國の性立い

、激化か

辯護士

沼

田勇法律事務所

(単) 三国八〇銭 三国八〇銭 (単) 五人国七〇銭 (単) 一六 国五〇銭 等外 一六 国五〇銭 等十四 葉馬(三頭) 「六〇〇米 (一) 新興(騎手内田) 二分三〇米 (単) 第二日以上

前スの不 仕末から

海陸貨物運送 電話ニー四七番入船町四丁目廿九ノニ

新京富士町五丁目

10目圖公司支店 本店大連吾妻驛前

工事用材料運搬 越荷物荷造

二十九日午後九時五十分富士 町二丁目十六番地同仁譽院こ と市橋員二氏方外科室から愛 火し、急報により馳けつけた 新京消防歐の消火の結果午後 十時十五分テーブルー脚、窓 ワク一組燃へたどけで鎖火し

引

意匠一鑑定 新京西五馬路廿一號 宗像建築事務所 電長四九四六番

0 大和通五一

平和の旗、文化の徽章献上の爲 但ちにハ市へ向<br />
ふ

がで自然をそなった見るから あわたでしい連絡の時間を割 がある。 変展振りで實に

を狙つた

刑を求刑

を旅行して植物の研究や古月間に亘つて北瀬並に繋河

お非闘を賜り度いと願つて を献上するのが目的で秩父 を献上するのが目的で秩父

**尚博士は大の親日家であると** 度いと思つてゐますから蒙古語を實地に研

精神は人類

氏 (三二) は之又そつくり博士に生宮しだ、ロシア語、ドイッ語、イタリー語、蒙古語 チベット語何でもござれの冒 クでは息子のジョー (三二) は之又そつくり ジローリッツ

米國文化團体代表

の営めに力を集めることを 高潔美と義勇を感ずること

獨立國家たらしめたことに對でも満洲國を支持して今日の

濛江

新京藩最大運動會は来る三日 いよいよ西公園で盛大に開催されるはずだが、新京駐在河 されるはずだが、新京駐在河 本藩鐵理事から二十九日中島 大本藩鐵理事から二十九日中島 で、河 で、河 で、河 で、大本田中島

品輸送隊

さる

河本理事も大乗り氣で 獎勵の寄附申込み

本中銀電話交換合配線工事〈中銀〉二、四〇三圓大通電氣 本重役室金網戶取付工事(同) 入一〇圓辻粗 本逐來町及西三條碎石車遺修 橋(地方事務所)六六四圓一 の市瀬組 本平安町外二街碎石車遺修

で護衛隊は直ちに應職したる 百五十餘名の襲撃を受けたの 再五十餘名の襲撃を受けたの が三江好、平來等の合流腫約 九日午前十一時頃蒙江、撫松 ば臨江より商品輸送のため振野寺指導官よりの報告によれ 松縣に向へる駄馬百頭は松樹 鮮人一名が負傷した

多数を掠奪の上商人四十餘衆寡敵せず賊は輸送中の商

朝鮮料亭で 失業男

事(同)九□○圓○一池內重川組 (同)九□○圓○一池內重川組

**酘局)四八五圓驅商組** 

倉庫修繕(建

三十日年動三時四十分ごろ市内三笠町三丁目十五番地朝鮮年新京館こと金允洋氏方で住所不定李京斗(二二)が阿片を多量に服用し苦悶中を家人を多量に服用し苦悶中を家人 阿片服用 理部)一〇二、七四〇圓阿川 本義和屯第四井戸築造工事(本義和屯第四井戸築造工事(

四六〇

寛城子踏切で 馬二頭はれ

**尙小火のこととて診療には差支へ無之從來通執務可仕候混雑中御尊名伺ひ 洩れ有之べく不取敢以紙 上御禮申上候昨夜弊院外科室小火 に際しては速刻御馳付御見舞に預り** 昭和九年五月三十 出 御見 舞

同一仁\*

は、何人の手に闘かれるのである

脱の思常は、如何概なる扱い手観のはお職人として日々組める異のとして日々組める異 個のない一際、動わておきたいことを指き上せて気の徹ちゃが、心を指き上せて気の徹ちゃが、心 の望の針女眼の手許まで医ますのの望の針女眼の手許まで医まされます

二目5二断野害

なづきながらっ **集人正は、何事か、いの中にう** 

しつくる。――今後、長様ちのは 『はムツ! 空極とくと心悸ま どなきやを疑性を出てたしかめる いや、即否例であつた。」 きつと申

あるであらう。その際まで下つて 一時には、まをし辿すことが

**新京朝日通一九(朝日通交番所前)** 

お産なさるなら

院婆隨派

產婆主任

字野のぶよ

廣 カーテン蝿入ラ 他夏物、物 島澤 庵豐 干

電話三 5 大衛大衛二丁目

知

識

眼

和

和

通

8話三人人一卷 店

石 田 材 木

州町(中央頒析京日報社西路)

梅ケ枝町四丁目十四番地

古

今気最新型の

宣第15四一〇番

松風工業株式會社滿鮮總代理店

旅館、

特約店

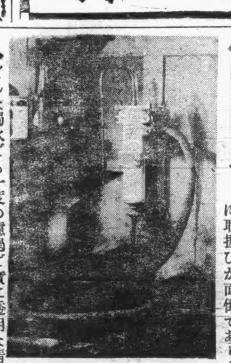
新 京

公主嶺

電話ニ三八七巻

温致します
□十人様迄の
□

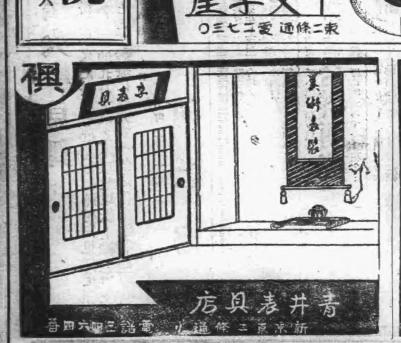
粗末なきサービス振り 常に好評を戴ひて居ります!! 新京口本橋通り ◆學校、官衙、旅 保證します、 ◆病院、薬局などでは之れから蒸溜水の代用水が得られます ◆各御家庭の炊事場に御備へ下さい皆様の御健康を絶体に



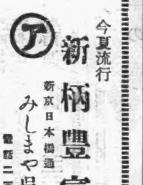
に取扱ひが面倒でありません楽品や砂、石綿を用ひた濾水器の様 二吋 金二十三圓也 三吋 金三十 匯也

樂道食 そして御氣輕な

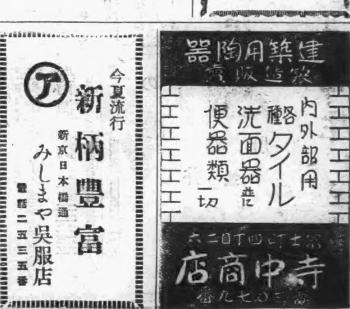
**電話四日** 八十番九 新築一師氣持上言即座敷 炭石 話







吳服店



Ξ 井 

茶

白

松

茂

東

紅

汗にまみれ

行友李風階作

渌"

●二黒の人 元氣を振立てょ 貨徹に努むれば離事も建す 鱼 仁丹のむこそ仕事もはずむ打ち出す力!

(可認物位野道三第)

花環専門の花環商會

0

市內

各食料雑貨店にあり

電話は三

九三番

會

郷他の言に迷ふな 玩を待つの み 新 京 一度お越しを願ひます 東氣分の…

「中国へはかち見らず。 前ちにそつ

全質性を負はればならぬのですが一条については、私戸役人はその

ました老は成樹地人正。原町の

長特の中を一切購ぬといよのは『さとうか――』

大元氏 時守との間に、何事か、

行友至風

てをるのぢやなーー」

体の中は、一切脳内ことに伝わっ

先役とりの仕来りにござりまして

打ちあはせたより引き下が

思まる前途有望の日

三笠町三丁目

最語三八三〇号

**深源者、潮川縣四**上帝の二人。

「一後し相成るのでござりまする」へ等の実験類をいれまして、おけ

た長持の中へは、残ひ張り、影響

手をつかへるのをち

にかけ、一家に面ると。

様は、窓のま」にて返しつかはす

これよ、桝戸役、郷田迎吾、

めつたにこない、単人正の登段

一部(伊豆康より運ばれたる最 それ以上、酸く削ひにしません。

52 大阪商船出机

B

京

日

譯●●●文章立案

本香 港 ナ うすりい丸 六月十二ト うすりい丸 六月十二ト が存發・賣所

タイプライター印書

中国 神戸(ブルンデー) 同一神戸(ブルンデー) 神戸(ブルンデー) 神戸(ブルンデー) 神戸(ブルンデー) 神戸(ブルンデー) 神戸(ガルカンガー) がいかる丸 六月 三日はるびん丸 六月 三日はるびん丸 六月 三日はるびん丸 六月 三日はるびん丸 六月 三日はるびん丸 六月 三日はるびん丸 六月 二日がまる 雅 丸 六月 九日からこま丸 月六 十日からこま丸 月六 十日からこまれ 月六 十日からといれ 六月 十二日

陸海軍試驗問題答案生

**9** 高級事 努用品 化村門三丁目廿八番地 商

南部 二 六五番

11

松風濾水器。

◆一度の濾過でコレラ、赤痢、
が出來ます **賃に透明な清水になります** 

(新京百貨店炭入)

神 行

東郷元帥薨去に

首和、編纂教文部氏、客内り嗣子総氏、内閣側より書いる。本の、内閣側より書は、内閣側より書いる。

官長掘切害水郎氏と决定した

-卅月五

來る 届日は廢朝仰出される模様

日取り等を協議の結果来る五日日比に國葬令を賜ふ樣勅書奏請の議を決定し、齋藤首相よりこの旨 陛下に定し、齋藤首相よりこの旨 陛下に定し、齋藤首相よりこの旨 陛下に定し、齋藤首相よりこの旨 陛下に定し、齋藤首相よりこの旨 陛下に 臨時閣議公

るため慶朝仰出され歌舞音曲

尚國葬令第四條に依り當日國民は喪

谷公園に於て嚴かに執行されること

に決定した

東京國通)故元帥の國遊奏詩に闘する臨時閣議は午前 、東京國通)故元帥の國遊奏詩に闘する臨時閣議は午前 、東京國通)故元帥の國遊奏詩に帰ばされ、旅行城席の南巡相を 、原本、より首相官邸に開催され、旅行城席の南巡相を に依る國遊奏詩は今回を以て嚆矢とすると説明し、故元 に依る國遊奏詩は今回を以て嚆矢とすると説明し、故元 は停止される

從一位大勳位功一般

内・陸下に非路を服り動響の寒間をないた。

台理化を

【横須質以通】

東郷元帥の徳一去と共に同元帥が

燥たる不減

海軍將士間に話が持

たのに、御年のせいで豊分かったのでせる数とへからざる疾病ではありましても、もはいらざ

しませら

相應しい犬往生 人とこ

との隔離な程静脈な人に移る境がなく微動だけ、もので、生か に移る境がなく微動だけ、 で、生がない。 との性がを判別す 郷元帥の農木 

死刑答刑の執行並に歌舞音 期の定により囚人の服役を特免 は 可算元帥の関都を行ふ當日殿 へ 可算にはれるがこの日は効令 出 でにより囚人の服役を特免 は のにより囚人の服役を特免 は

日殿へ行奉及遊ばでる、行義に仰には、降さには六月三日素山瀬田町には、東京國連)、天皇、皇后南の御延期に御内定

出されたが、東郷元帥護士の 期あらせられることに御内定 の由洩な承る

滿洲國皇帝

御親電を發出

満郷土地貨で申込

調査済みは半分足らずで

年度の建築にも登安が も静くない、なほ地區 の結果は書時所報の活 あるが事實は新に盛地 あるが事實は新に盛地 ためで一般申込者にほ 地を改造の結果は書時所報の活 で大いに氣を揉んであ あるが事實は新に盛地 してつてゐる、なは新 に受付け、既に受付け、既に受付け に受付け、既に受付け に受付け、既に受付け

減る勘定で

甲込者から \*\*

""

「東京國通」東郷元師は我々の元帥として國民一般敬慕 の的であつた黙に繼み、國羅と同時に若くは國羅後更め であつた黙に繼み、國羅と同時に若くは國羅後更め れて居る

國民葬説も起る

制度確立

退機後の給與の如き恩給制度

| 上 | とする官吏任用 | とする官吏任用 | とする官吏任用 | とする官吏任用 | とする官吏任用 | とする官吏任用 太皇 質店

義の下に個面れたもので律給し本主は全然含まれない保給一本主 俸給令の眼 目

博してゐる

の尤も今回は興信所も遅れ

本 東二條通人形座 電話二五三〇巻 高十九井上方

- 戸を増し従つて、 ・ 保税の通り住宅 ・ 保税の通り住宅 ・ では地區割變更

中傷はとらず 住所氏名を御知らせを乞ふ紙上匿名は可なるも一層

語を賜り 世保軍港に風旋し動

和 関係者へ通知されるか見當つ の頃までにその結果が判明し の頃までにその結果が判明し

知ることが一日千秋の思ひで知ることが一日千秋の思ひで

此方も大困り

を祝

家族にまでも

題言はなかった。

弊を排除、 根本的に排除すると共に、 人事の公平 給制度確立の結果として明学

月月日日氣天 後和最終前後後前景が 五十七四段高用 時時時 四 十十周 十〇十〇四八皇 一〇十〇四八皇 のののが公分〇〇一り

飛行は

**酒差**大

爾話

INTERNATION ( HIVE

食料品と

室町一丁

一丁目十カナ

非常日華洋行~ 貨の御用命は

薨去を悼 際膝首相

課國被職を日本海に撃滅し、 教」の危機を救つた事に彼の 有にな信機を救つた事に彼の 激末だに絶えぬ所だ、その後 激末だに絶えぬ所だ、その後 で、國家のため誠に痛悟に増大 を続一したる功績は實に偉大

格者を失つたものである。格者を失つたものである人

擧げて

12

總裁語る常

非常時局に顧み痛情を禁じ得のした。この國質を失ふ事は仕した。この國質を失ふ事は仕した。この國質を失ふ事は

河底區

小林司令官語る

御機威をあげよ島國人 と述懐を三十一文字に告せら

大の如く田少佐副

れ一団期セプし

その元帥が海殿記念日に再起 沈着と大鹏との成功であつた の元帥が海殿記念日に再起

東上の英雄の死に週び將星地に聴ちたかの感がある、借みても繰りがある、我海軍の一糸紊れないのは元帥の如き像人が師父として指導せるためで今不聞の客となるとも元帥のの精神は我領軍の精神となり

駐日大使に

弔辭傳達方電命

も強く責性恬淡誠に確に見

米國務長官ハ

ル氏

【東京関通』端二十年東郷元帥の身體を見守つた元帥主治師の身體を見守つた元帥主治際さんが調料した繁だと言ばれば服用しない程の信任振りであつたでけに一人層激烈であったでけに一人層激烈であったでけに一人層激烈で

でき想ふ、最近は私の方が でき想ふ、最近は私の方が できると種々話もされて面白 い方であつた、然しそれも 今では思り出となつて了つ た課だ、痼疾の膀胱結石は い方であった。然しそれも 今では思り出となって了っ た課だ、痼疾の膀胱結石は してよった。

復を耐ると」もに司令官以下全員は頻京神社に魯拜したが實に建念なことです、 提督は强氣果断の人で融機を見ることが明るく且つ六 徳即ち謹感の働きがすぐれてゐた機に思はれる、あの 日露の大海戦に我が軍が大

支線型はしくなく以来元帥 生が八十八の高齢を得させ たもので持減の膀胱 積石は たもので持減の膀胱 積石は たもので持減の膀胱 積石は

があり、月には帝大州田

米國大使グルー氏に訓電を發

は貴下に對し米國政府並に 東郷元帥薨去の報に接し余

の英國留野時代の事や日本海 地起して在りし日の世界の東 郷をしのんで居る

機工笠が記念機として保存されてある横須賀電池では早くれてある横須賀電池では早くも同記念機の前に故元帥の銅社を観訳すべしとの難か横須町市民のみならず海軍将士の間に持上つてゐる 姚族を願へしてゐる元帥の樂

横須賀軍港に

銅像を建設

大進年式集行か大選手は部内に於て選邦式を開行することとなつてあるが、この不世出の英雄が悪い國民の心を反映して新京一般市民民命国の大選邦部を中心に軍民帝国の大選邦がある。

身分の保障をされて居なかつ人事制度の確立なきため何等

ものと観られてゐる 上に及ぼす好影響は至大なる を以降に於る豫算編成の技術

制等を含む総合制体給令を實機死亡場金並に公傷死亡性金 顧の憂無からしむる爲め凡存 官吏の身分を完全に保障し後 官吏の身分を完全に保障し後 な官吏を任用し、各種の業務 ちな一大福音がある即ち優秀

に長かことは誠に國民として 高質の様々で憎しみでも悟し なほあまりあり▼特 治療受付

随時往診の器に廊ず 杏林堂醫院

堂脇サト:

小内 兒 科科 正午より午後三時まで

編編所

▼受渡員目は正しい▼ 打 直 は 迅 速 各種豐富に取揃へてあ お手入時 粉京東公園裏通 b

新京輸入組

有福君八自籍 者 學 秦 秦 秦 人 自 仕 歴書携帯出頭/コト 保護者宅ョリ通動スルモノ 高等小學卒業 集

保護

官吏の大福音

身分保障に關する

諸制度も新年度から實施

△出張所 柳京東二條通五八番地

**會職(東)順天堂製藥部** 

とんな所でも 経験がなくても離でも出来る 南質は薬店です、副業にもよい、本家になる れば更によい結果が得られます、皆様御存知 の東京順天堂製薬部で満洲に適當な難品を収 揃へて出張して居ります

「ロンドン三十日國通」東郷 元帥の廣去に對し三十日の英 職各紙は大人的に紙面を顧ぎ 日本のネルソンのため 漫甚な る哀悼の意を設し元帥生前の 徳を讃え 元帥は不携不屈偿むとごろ を知らず而も人に接するに

特約代理店募集

成り指示を受けられ度し 新京地 方領 務事 所館

りたるに就ては該富者は六月一日迄に地方事務所地方中心品書以上の邦人は同社境内に於て倒奉りの許可る。秋、父宮殿下、新京神肚に御成りの際當地在住者

## 新京醫院 超スピードで新醫博に ぐさま癒る 吸入した方がより効果的で、 はこの種の論文で僅か半歳 なほこの種の論文で僅か半歳 なほこの種の論文で僅か半歳 ないる大競見である、 なほこの種の論文で僅か半歳

### 士仁科泰氏は本年一 発病棟の新京腎院分 現在の注射よりも

営の仁科分院長は語る

頭蓋骨をわつた為

義の男女

同居人と共謀し本夫を殺害

首都警察のお手柄

下水海内から新しき斧が續いできつけ雨名を嚴重取調べる

は更に右二名の潜伏場所を捜 
は更に右二名の潜伏場所を捜

寒 **森** 寒 蜂 醫 肥

錫林は目下ハルビンに逃走しを發見逮捕し、取調べると閻

てゐることが判り係員を派し国際運輸株式會社の苦力をし

を大いに期待して居る を大いに期待して居る を大いに期待して居る 都合に依り必要ある場合に第三條 官公署職員は事務の

執務時間外と雖も執

右について仁科分院長は頗る 謙譲の態で語る 課題の態で語る 一致は九大の小野寺教授の下 に研究をつどけてゐましたが、同教授の強見になるア ストールといふ難がある、 これは喘息には誠に効能あ るもので、どんな重い症状 ののものでもすぐ癒る余りよ

怪しき軍艦

完備

する

育

機

態よあすから

區制實施

區長は未决定

二、赤峰より一直線に閉巻に一、赤峰より級東縣を貫き閉 【奉天閥通】安東。大孤山間 の北井子駐屯部廠よりの報告 に依れば二十七日午後入時頃 北井子沖合小鹿島附近に米國 大海らしいものを横頭に掲げた 野校を急派して同艦の國籍を の他調査中あるが昨年夏、李 子榮匪が關内より密かに同海 手で武器を陸揚げせる際り、李 出現したこともあるので目下 國軍艦らしいものが同沖合に

年度

に實

ル等

滿洲國官公署

満洲國政府では能率の増進を 国るため官公署執務時間を六 とになつた

官公署執務時間規則

産業開發の工作へ

新年度豫算の大郷

重要使命を帶びる實業部

六月一日から執務時間改正 第一様 官公場の執務時間は

新京地方事務所趾會係では昭 新京地方事務所趾會係では昭 一五週を申請した 一般プール、見童プール、一般プール、現家プール新設プールには 七十四萬二千圓を本祉に申請 一、新京庭球場二面新設四千

=

十七メートル、縦二十メート たほ体育館の敷地は関東軍新

西廣場校父兄會

国人连宫突除

局の外にハルビンに水産局を ては先に開設された菅口水産 現地鑛山の地層調査を行ひ、

な天を合祭してゐたが、人口 は天を合祭してゐたが、人口 は天を合祭してゐたが、人口 は天を合祭してゐたが、人口 で、既に本堂前庭に着工した 工事は来月二十日すぎ載工の 下事は来月二十日すぎ載工の

新に祠堂建築

製安總署十八年 製古を除く全満各畜産地に種 業古を除く全満各畜産地に種 業方を除く全満各畜産地に種 がの新規計畫は同節の要求費 あの新規計畫は同節の要求費 され、康徳元年度兼第三十萬

とする産業調査局の設置問題、全滅一般産業の調査を目的

龍江の雨試験所を 海外貿易官の設置問題は滿洲

社の受託も同様に延期致しますましたが内地方面で六月末日迄延期しましたから弊忠靈塔建設費募集締切期日は五月末日となつて居り

新京日

日

新

聞

社

記三線路の實地路査を行つた の関道建設に先だち通遼赤峰 間の治安並に警備上の見地よ り建設總局に於で兩地間に乗 合自動車の運行を計畫過數左

線路計畫

部提出豫算の新規要求事業は此の意味に於て國内産業開發

福めて重視されて居ると同時部提出鞭算の新規要求事業は

第二十八又二を計畫し元年度 ・ 大薫等の諸塵菜振興を目 ・ 大薫等の諸塵菜振興を目 ・ 大薫等の諸塵菜振興を目

新設經費五十七萬國を計上し

を含む新規要求に注がれて居 電監は何れも産業建設の内容 で含む新規要求に注がれて居

即ち産業開設の基礎となるべ

國の

產業振興基礎

必要性認めら

る各

勝整、輸出促進を目的とする 疫所等の設置、更に對外通商 疫所等の設置、更に對外通商

面からその必要性を認められ で居る

日五十 7 to 憤怒爆發 名以上惨死

機能地域のソ聯から設置な監 関網をくでつて命からがら最 が局子街に逃げ勝つて来た朝 が人養夫金鐘河(四二)金龍 学(三四) 張道汝(六二)の 三名が彼等の移住地であつた スパスカヤ方面のソ聯の軍事 施設並に宣傳について目撃し

日迄の間に於て二十日以内 休暇を與ふることを得但

三十一日迄 三、十月一日より翌年三月 三十一日迄り翌年三月

**午前九時より午後四時に至** 四、四月一日より六月三十

場合には其の他の期間中に関を與へ難き 運轉手の 事務の都合に依り當該期 死因

極まる事件が首都新京の郊 を乗り取らんとした奇怪 を乗り取らんとした奇怪 佐以下各係員の大活動で美に首都警察應司法科淵上警

没してあるを部民が競見し配体が 郊外鐵嶺屯部落の墓地去る二十日午前七時で うろ新京

(四四)と判明したの 下各係員は現場に急行 下各係員は現場に急行 大活動を開始し、同

を同家から追出したが、その ところを出先から瞬つて來た ところを出先から瞬つて來た ところを出先から瞬つて來た

| 宮鯉は前列右から|| 闘錦林|

飛行隊の記念祭に 爆彈投下實演

本筈であるが防空思想勃興のを歓迎し、壯烈なる防空戦の を以て見られてゐる 折柄とて其壯闡は多大の期待 たほ午後零時三十

市民の防空熱喚起

を利用し飛行隊と連絡交渉の一式を見た満洲防空協會新京支一部では漁くも此得難さ好機會 雨天の際は演習はとり止めに 午後三時半まで行はる、なほ 午後三時半まで行はる、なほ 歌京支部へ早刻申込れたしと あ由であるから希望者は協會 る由であるから希望者は協會 分から饗宴

ぶら 席 理 道 食 通日朝三話電 事四 領 八

砲車が整列

脚東軍自動車隊

御警戒に

新京署幹部打合せ會開催

お寫眞の

宮殿下

御來京を控へ

御用命は定評ある

林田寫眞館へ

シーズン!!

創立記念祭

スパスカヤから逃走の鮮農談

各群とも飛行機五、六豪乃 しき軍職が移駐し來りスパ スカヤ、ウラジボ間には約 があるが

於て休暇を與ふることを妨

直屬の主管官署長之を定む、 
戦務時間及休暇に付ては主 
戦務時間及休暇に付ては主

新京醫院で解剖の結果判明

二十七日逮捕し事件は一段落を告げたが、主犯閪は昨年四

● 坂本四郎氏山吹町興安寮かへ

来て闊方に同居中濶の妻宋氏 と相知る仲となり主人の不在 中を奇貨とし二人は不義を積

本家天中學生工一七名三十日午後四時三十分發南行 本京同日午後九時三十一日午前九 本京同日午後九時四十分發哈 京同日午後九時四十分發哈 京同日午後九時四十分發哈 京同日午後十時四十分發哈 京同日午後十時四十分發哈 京同日午後十時四十分發哈 京同日午後十時四十分發哈 京同日午後十時四十分發哈 京同日午後十時四十分發哈 京同日午後十時四十分發哈 京同日午後十時四十分發哈 京同日午後十時四十分發哈

十時ごろ殺害したものである 大謀し 同家の財産を乗り取る べく計費し、去る十五日午後 でく計費し、去る十五日午後

果計金五千二百一圓七十三錢 新京日日新聞社扱

忠靈塔寄附者

(里)

商業學校では三十日から向ふ四日間第一學期臨時試験を行 書者の妻誾宋氏(二三)同一 見、使用人閶鷂林(二八)の四 見、使用人閶鷂林(二八)の四 に不審を抱き、同家同居人亡

**捜査の末同家から血痕** 

**林、閻 宋氏 等と共謀し惨殺** 

關係方面から注目されてゐる 月二日が同職創立第二回の記 月二日が同職創立第二回の記 家日に當るので當日は日浦朝 野名士多数を招き日支事變以 来の殉職將士に對する慰璽祭 を行ふと同時に庭大なる祝典 行機其他防空兵器の一般觀覽し防空智識を異へる目的で飛口では當日更に一般市民に對

と豫算に就ての折衝を続けて るる。因みに羊毛の骨産に関 の上實行に移す可く計畫が 第の上實行に移す可く計畫が

新京地方事務所涉外係長龍谷 苦しめられて來た一般民衆 明込むべしなどゝ途方もな 新舊涉外係長 は一般民衆は防毒 財産 更任挨拶 開戦の場合 乘取りを企む

保氏は武戦の通り退社、後任日兩氏同伴更任挨拶に關係箇

無数で之が爲官憲に捕は片極刑に處せらるゝもの相常を数で一日平均之等の事故により無慘の死を遂げるもにより無慘の死を遂げるもにより無慘の死を遂げるも

享年六十九歲

衆に對し戦回に亘りピラをパスカヤ區各地では一般民パスカヤ區各地では一般民間といい。 今にも出 の氣運がらつ 如き状態にあり、目下ウラ 、今にも爆發するが

後九時三十分來京問日午後四時 一年後三時二十五分醫院同日 一年後三時二十五分醫院同日 一年後十時發南行 一十五分醫院同日 一十十五分醫院同日 一十十五分醫院同日 一十十五分醫院同日 一十十二十二十二日 一十十二十二十二日 一十十二十二十二日 一十十二十二十二日 一十十二十二十二日 一十十二十二十二日 一十十二十二十二日 一十十二十二十二日 一十十二十二十二日 一十十二十二日 一十十二十二十二日 一十十二十二十二日 一十十二十二十二日 一十十二十二十二日

中に不常政治を鳴らすものと歌市内は饑餓に迫られたと歌事し又民衆

元米國聯合艦隊 チ司令長官死去

對撫順野球戰

無期延期

三日自動車隊創立配念祭を奉行することとなり同隊長落合中佐から各方面に案内状が設時から式真、同十時から角力等別の競技、正午祝宴午後一撃別の競技、正午祝宴午後一

ーズ提督は廿九日死夫した、

ールス、フレデリック、ヒュ 元米國聯合艦隊司令長官チャ

對滿洲は、オール新京職は生類京野球ファン特望の撫順軍 僧の雨で無期延期となった ル新京職は生

風月庵

設計

旋行修理

煖

房

工

生

迫

工

▲東京豐島師範學生 五十四 居

住消

息

智 話 三 七 五 O 香

商會

◆ 味方人郎氏(新潟縣)赤純から吉野町四〕目三番地声から吉野町四〕目三番地声がら羽衣町二丁目内脇ビルへを見尾大郎氏(帯岡縣)奉天から羽衣町二丁目内脇ビルへを見尾大郎氏(帯岡縣)奉天から羽衣町二丁目二十七番地へ二丁目二十七番地へ二丁目二十七番地へが自然がある。

●御一報次第店員參上可仕候●

▲編井優氏 曙町二丁目十四番地局官舎中央通り二十四番地局で11日十三番地へ 11日から緑町三丁目十番地ノ三から緑町三丁目十番地ノ三から緑町三丁目十四番地ノ三から緑町二丁目十四番地ノ三から緑町 は履歴書携帶本人來談あれ經驗の有無を問はず希望者 社員招聘 新京梅ケ枝町三丁目一〇

帝國生命新京出張所









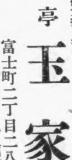




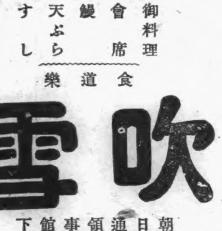
▲岩部膏水郎氏 (露月町) ル二十五日出生

神精





キャピタルゴ富士町二丁目二



3

つそれたよかわを

通り越したら必ず光明がある。生きる事は苦しい、それでも

らつて人生を逃避するのは卑生活の重荷に耐えられないか

生きる事に恐怖をいだいては

生活の詩

生

六時 帝 五時 五 五 分

にほにそそそぬ 十十十六十十十 七八八 五四四

カナコ

16

17 13

(三)

塞王 戰

の種の遊戯に選ぶ者の快感がある

人生のてほんとうに面

,滿州國電氣指定商會與東軍電氣指定商會

管

碓

司電氣部

記

つかぬ所に、駅氏攻跡の苦むが

互先先番

政友會三多摩重鎮、聯珠四段 加 藤

元、山 梨

野知事、

施養士

名

童

局

(H+#)

### 近 づく雨季を前に 挿

山の薬がついてゐると、自然 「一番よい時です、設育校を 「一番よい時です、設育校を 距離 は、その植物の種類に もよりますが、一段こと、

ラく、従つて活着率も悪くな りますから、不要な薬は 一准火 は常に適度の温 するやりです、殊に酸育枝をした方が活着がよく早く酸根

行ふ場合には底熱が高いため で、人工的に加熱して挿木を ん、殊に温室やフレームやうにしなければなり それから少くも一日に一回、 夏になれば二三回底まで手を 入れて攪きまはすやらにして 恐ろし お醫者の來るまで

10

ん、水が多くなつたら新に糠な入れて水を汲み出す方がありませ

素人でもこても上手に出來る

ます、酢つばくなつませんれると更に味がとを入れると更に味がと

どうせの中を渡つてゆくた起したことはなからう、そうするには、空なる人生に、各人かつてな希望の山をつくつて達者で努める事だ

科營目業

代倉

海 及 保 證 展 及 金 融

\_\_\_

六五四

前各項關係

委勞

託力

際

會株

社式

京

支

三度

私はあの人に詩集を送り

四三二二二二二二 九〇四六三 一 三九五 六五八六四 三 〇三〇 三九五五六 三 一一四

ーニーニーニー 七三一二三五六二 四七七九一九一六三 三九六六五一〇二八

糠みそ に手を入れると

私はあの人に特集を送りたい私の心の歌を共にあの人は歌切ばる無心な子供それは氣高切ばる無心な子供それは氣高

働いて食つて時たま病 れるから

入院往診 意

日曜祭日午後休診

働く事の愉快さもその後にすことの賢明さを知るがよ 今日と云ふ今日を面白うすごて死への旅路なれば、 の字樂を求めるもよい、 氣する等

小兒科

並

星

堂

殿四

院

吉

暫くの手當法

海の外から

自動車を轉畳をす

しみをおもつてではな

飲ませる方がよく、但少きに失するよりは多

命を失つた者の如何に多い事毎日働いて蓄へた金の爲めに 主婦 0 メモ

糠みそ

なら

挿木の灌水はいづれの場合で ら特に注意を要します、ま

臭いのは手入れ不足

すつかり冷へましたとこで、 練をねり、粉の辛子を一合と 赤唐がらしを五六本入れると これでいい糠みその床が出来

すから、からして多少なりと でには相當の時間があるので では相當の時間があるので

時は注意しないと固くなり 貝やタコ タコ、貝類などを煮る 煮るコ

三井物產株式會社職原所

一大連 市山 面

全類拂込濟) 全類拂込濟)

|肥料、工業難品、食料品・其他輩品、人絹織物類一般、砂溏、セメント、鱗寸、紙類、麻袋類、大豆粕其他粕類、豆油其他油脂類、石炭

三二二二 三四七四〇 五六六四一 八〇三四二

社所三保保 員長井 社社倉

社社倉

よく告げることが大切でありしてしまふことが必要です、

内、二百八十

の水に溶かして煮立てます、まで焙り四五合の鹽を二升位

じらないものを吟味する、これ升樽に糠を三四升へ砂のま

入れて温め、氷沈、

か、忘れてならない注

米師で此の程、自動車旅行

れて温め、氷枕、氷簾で頭居りますから、湯たんぽを

を焙烙でサラサラになる。こ

州一日(木曜日)新京 午前一時四〇分 ニュース 同 一時五九分 時 独 同 一時五九分 時 独 一等五分 經濟市況 (等天より日滿兩語) (等天より日滿兩語)

船を浮ばすこととなり來る大は人命救助を目的として病院

同 五時三〇分 一時 〇分 海 部 一時 〇分 海 語 一時 〇分 ニュース (再請用語) 四時三〇分 経済市別語 (清語) ニュース (新語) ニュース (新語) 四時五〇分

全支 那 公瓦瓦

正直+信

●但城內及南鐵方面 店 

電話三四八三番新京東四條通リー九番地新京東四條通リー九番地

内外線電氣互事並二動力据付

」種電燈取付互事請員

央通リナ三番地

木炭 ,湖用

、私設電話、增設電話ニ對スル室內設備等 、電話機 新京日本標通七三 、電話機 新京日本標通七三 ・電話機 新京日本標通七三

**新京電話工業株式會社** 

話四九八一…三七三二番

●ガスの出ない

●値段が安い ●目方正確

室町 藤村商店

研期開教時資**滿**究 講 料間日材間格 洲 語研

和學者及稍解者(男女) 自午後七時华至九時半 在、簡易支辦語會話篇 六月五日 四個月修業 八圓(四個月分) 八圓(四個月分) 八圓(四個月分)

加賀田ヤエ宮内嘉一郎 サミ 修理 t ●各種サゴーブ修理 古 買

世話三一七一番

販賣 一商會 Sammanner and and the state of the same of



なるがなの書と光ランプから 東京電氣探式會裡代理店 登洋行電話二〇四〇番 台魯 和 日本橋通り拾八番地

眅 服

> 部 地 商 站屯

電話三八七八番三笠町四丁目五

產 腰大

理想的立體塗料 水性塗料の権威 社會式株造袋料塗城岩

品定指海省官諸

信 八〇七三話電 女らい病乞食はだまつてうなづ

学田は入念か足らないやうな表

『窓の方は、ご飲分になりませ

本:

0

田

増員陣容も整ひました

是非御來店の程を!!

点がありましたが今回本支 支店 共從來手不足の爲サービス に遺憾の

子

かっその中には近畿に住居するか、何がかついで通行しなかつ 背の中のこと、o 比遠を大きの までは問ふが、一昨夜のま は南ぐ沿ひかぶせて言つた。 年間公真に向い、 「其力達この過に仲天連お高と

美爪術

变店泳樂町 | 丁目九

夏宮崎 鶴枝 麦店田日榮加

美顏術

黑猫美粒院

和洋髮

であらうが、今はどの途に住民す 『伊天連お高、そんな名前を時

されるらい病で其の節の心さらなべるらい病で其の節の心されるのい病で其の節の心されてはの節の心はないます。 みはつて居た。 と館かに云つたが、

あの時私地に屋根を二重に

一時夜の背の中と印します

達も交つてるたとのこと。

行した人などはござりませなん

に存じますっ

となって、

しどうぞよろ る子た春 OR

文ニ應ジマス 種其他一式、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

木炭八 破格ノ御値段ニテ御注 卸及小賣

城内大馬路へ五馬峰北口

山出前迅速口

純東京にぎり

釜

北陸名產

なめこ料理

曙町三ノニニ、満鐵病院 電話三六七 四十人様色での知道

家族的で高品た 食道學 入船町ラー七

ヌレ政モテイ、タ



+

沈ひにこの奥い四へ出かけま

おに思ることであっている。 とれから かけいかん と名乗るあの。 はっとって 戦闘のかい それから

性內

病 科

小兒科

Y

モヒ

痔疾科

ヘロイン中毒

この奥の蛇形が、非人の身間

其がへ行つて見ませ

代診生並に看

用 命 隨意

一三七五六二個組郵便局

の所を見がすがり取り強盗の小眼 「お春ばかりではあるまい。 京

今度は神山が同うた。

容も用りますことでせるの大にく

地にくいつた、おぞる

金次院保護保產財金額以上的公司

サンニーラド

(日)

つがないのに、見れば一時人面り

見込みである」

一それでは、切交外の記式をナ

山崎齒科

中央通西公園前

記式を行ふためであらうと記者

うな小型のつきだちゃな

るのちや。此の魔は荒地であり

曜

地をは川見ることであらう

が符合などに居ったづかいはないが符合などに居ったづかいはない

「一戦験りも地震に居住して国

情をして時たる

新京の草分

食道樂

花郷町二八町

曙町二丁目州

(東二條川交番隣

業

產婦人科、耳鼻咽喉科

花柳行科

電ニス六一家 宮堂 朝鮮 釜山、大邱、木浦、群山、仁川、平鎮、支店出張所及派出所支底出所、本店、京城 **各種暖房** 表科目 道 設計施工













水

~

+

minimum distriction

美術看板



